

事業名

## 学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども

目標

地域と連携して、学校園の環境を整え、地域交流を深める。

### 1. 取組の視点

地域コーディネーターやボランティアの積極的な活動によって、都跡中学校区の各学校園では、地域教育力が大きな支えとなっています。また、教育環境が整えられ、「地域の学校園」（都跡の住民が創っていく学校園）をめざし、成果も上げています。

### 2. 取組の概要

昨年度も、「学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども」というテーマで取り組み、校区の佐紀幼稚園、都跡幼稚園、都跡小学校、都跡中学校で、それぞれ協力しながらテーマの実現を図りました。また、緑あふれる美しい学校園にするため、「ゴーヤカーテン」や葉ボタンの栽培などさまざまな園芸活動をすすめ、都跡幼稚園では、トマトづくりもおこなわれました。その取り組みについて、マスコミが取り上げられ、他校からも視察に来園するまでに至っています。



また、読書好きな子どもたちを育てるために幼稚園や小学校では、ボランティアによる読み聞活動を行ったり、小学校と中学校では、図書の飾り付けを行い、図書の環境も整いました。



また、「ふるさと大好き」の取組として、「第二回都跡ふれあいまつり」を9月29日（土）に開催しました。小学校の体育館で、地域のコーラスや中学校吹奏楽部、小学生マーチングバンドの合唱、演奏を中心に文化交流を行うとともに、地域の方々と園児児童生徒の作品展示を行いました。



また、1月には林聖子先生による教育講演会を実施しました。2月には、コーディネーターと地域ボランティアによる地域教育協議会交流会を開催し、研修や交流を図り大好評でした。これらの取組を通して、地域と学校が一体となり活動を行うことができました。

### 3. 成果と課題

（成果）「第二回都跡ふれあいまつり」を通して、文化交流を図ることができました。また、地域コーディネーターやボランティアの協力によって、学校園は一段と美しくなり、学習する環境が整いました。一方、ホームページ等を通じた広報活動が進み、より地域教育活動が浸透しました。

（課題）地域コーディネーターの高齢化が進む中、新たな地域コーディネーターの育成を図ることが必要です。また、地域ボランティアも同様に、活動内容をより一層地域にPRすることで、広くボランティア登録を行うことが必要です。

事業名

**見つけよう地域の宝物 つながろう地域の人々**

目標

**地域の人々との交流を通して、地域の素晴らしさを見つける**

## 1. 取組の視点

都跡中学校は、校区に平城宮跡、薬師寺、唐招提寺の3つの世界遺産があり、世界遺産とともに郷土を知り、郷土に誇りをもつ生徒を育てようと取り組んでいます。また、都跡小学校とは1小一中で、施設分離型の小中一貫教育のモデル校として小中一貫教育をすすめています。そのような中、地域の方々が学校のために積極的に地域コーディネーターとして、またボランティア活動として、参加していただいています。地域と学校が協働で取り組む活動をすすめています。

## 2. 取組の概要

これまでも、コーディネーターを中心としたボランティア活動の取組があげられます。樹木の剪定、芝生刈りや雑草の片付け、ゴーヤのグリーンカーテンづくり、パンジー・マリーゴールド・葉ボタン等の園芸美化作業、古い机・いすの廃棄など多岐にわたります。

中でも、夏休み中に行われる美化作業では、生徒、PTA、都跡おやじの会と一緒に学校内の清掃活動を行いました。特に中庭の樹木は見違えように美しくなり、参加した生徒たちもあまりの美しさに感動しています。



ペンキ塗りの作業では、地域ボランティアと生徒会有志で昇降口や階段、北館廊下の壁面にペンキ

を塗り、一緒に汗を流しました。このようなボランティア活動に参加していただく方が年々増えており、地域と学校の協働がすすんでいます。

本校の吹奏楽部は「第二回都跡ふれあいまつ

り」で小学校マーチングバンドと一緒に合同演奏をしたり、幼稚園児を本校に招いてふれあいコンサートを行いました。また、奈良東養護学校へ演奏に出向きます。

他にも、中学3年生が都跡、佐紀幼稚園の各園で2回にわたって保育体験をしたり、生徒会有志が清掃活動やスポーツ交流を行っています。また、中学2年生が地域で職場体験学習を行ったり、中学1年生が「職業人に学ぶ」を実施しました。このように、積極的に地域に出向くことを行うことで、地域の人々との交流が深まるとともに、地域の人々の素晴らしさや地域の素晴らしさを発見することができました。



## 3. 成果と課題

(成果) 地域の方々とふれあうことで、生徒の中に自分も地域の一員であるという自覚が生まれています。また、学校評価では「ボランティアの協力を得て教育環境が良くなっている。」という質問に対して、生徒の82%、保護者の91%、教職員の100%が肯定的でした。

(課題) 地域ボランティアが気楽に参加できるような企画を計画検討し、推進していくことで一層の協働を図りたいです。また、生徒が校外に出向くことで、地域の宝物を発掘していきます。

事業名

**ふれあい、つながり、輪になって**

目 標

**都跡地域の環境や人材を生かして活用することにより、都跡を愛する心を育てる**

## 1. 取組の視点

本校区内には平城宮跡・唐招提寺・薬師寺といった世界遺産があり、歴史・自然環境に恵まれています。地域の人々の郷土を愛する気持ちや学校に協力しようという気持ちも強く、学校と地域が連携・協働していく仕組みもできています。このような環境の下で、地域の人、もの、ことを活かして豊かな心や活動意欲を育てる学習活動を行っています。具体的には、地域の人々とともに「栽培体験・ふれあい学習」、地域環境を生かした「世界遺産学習」、小中一貫教育新設「郷土『なら』科」などの学習に計画的に取り組んでいます。地域とのふれあいを通して、「自分たちも都跡地域の一員である。」という心を育成し、同時に地域の教育力の活性化を目指しています。

## 2. 取組の概要

低学年では、地域の方に教えてもらいながら野菜の栽培や収穫をしたり、昔遊びを教えていただいたりしています。自分たちが知らなかった「〇〇名人さん」に教えてもらい一緒に遊ぶことで、地域の方を身近に感じることができました。また、平城宮跡で虫取りや凧揚げをしたりして世界遺産と身近に触れる機会があります。



中学年では、地域の方々に教えてもらいながら一緒に体験する「ふれあい集会」をしています。地域の方のやさしさに触れながら、昔の暮らしを体験することができます。子どもたちとのふれあ

いを地域の方々も楽しみにしてくださっています。また、福祉体験学習をして、「人にやさしいもの」を校内や校区内で見つけることで、自分たちの学校や住んでいる地域を見直す態度を養っています。



高学年では、主に「世界遺産学習」に取り組んでいます。校区内の平城宮跡や唐招提寺、薬師寺について調べ、まとめています。校区内にあるというだけでなく、地域の先人達がこれらの世界遺産を守る努力を続けてこられたことを知り、自分たちも守っていこうとする気持ちを養うことを大切にしています。このことを通して、自分たちが暮らしている都跡の地域や地域の方を身近に感じたり、誇りに思ったりする態度を養うことができている。

## 3. 成果と課題

地域の方の協力を得て、低学年から地域とかかわる体験学習を積み重ねることで、子どもたちは自分が住む都跡の地域を「知り、関心をもち、継承する」という意識を高めています。そして地域の方の温かい気持ちに触れることで、自らの気持ちも豊かに育てることができています。このようにして、都跡地域のものや人に対する愛着や誇りをもつことにつながっています。今後も、地域の方との心豊かなコミュニケーション体験を中心に、学校と地域が一緒になって子どもを育てる取組を続けていきたいと考えています。

## 事業名 心を動かし夢中になって遊び込む子どもをめざして

### 目標 地域の教育力を活用し、幼児教育の充実をめざす。

#### 1. 取組の視点

- ・ 地域の教育力を活用し、幼児教育の充実。
- ・ 「いいこと考えた」と、試したり工夫したりして、遊び込める子どもの育成のための環境の工夫。
- ・ 奈良の世界遺産にかかわり、自分の住んでいる奈良の良さを知り、大切に作る心の育成。

#### 2. 取組の概要

##### 【地域や様々な方の協力を得て】

##### ○トマトプロジェクト

地域の方の協力で、トマトを栽培しました。土づくりから世話の仕方を丁寧に教えていただき、色づいたトマトを完熟カードで見比べながら収穫し、560本のトマトジュースができました。

そのジュースがとてもおいしかったことから、みんなにも飲んでもらいたいと考え、小学校のふれ合い祭りと幼稚園の秋祭りに売らせてもらうことになりました。子どもたちは、どうしたらジュースを買ってもらえるか、「チラシを配って知らせよう」「遠くからでもよく見えるようなでっかいトマトの看板をつくろう」「ちょっと味見して飲んでもらおう」と、本気で考えを出し合い実現していきました。



##### ○震災被害を受けた、多賀城市の幼稚園にジュースを贈ろう

学校教育課で避難所支援に参加された指導主事先生から友好都市の多賀城市の様子や震災についての状況〈津波・火事〉をビデオや写真で見せていただきました。

人の命や大切なものもみんな流されたことを知った園児たちは、「ジュース飲んで元気になってもらおう」「がんばろうって言う」など被災地に思いを寄せ、一人一人がジュースのラベルに応援する気持ちや自分の思いをかいて、トマトジュースを贈りました。仲川市長・市議会議員・宅急便等、多くの方々のお力添えをいただきました。



##### ○奈良の鹿を助けよう

地域の方の協力でトマトジュースを売った収益金と募金が集まりました。奈良公園の鹿に興味をもっていた子どもたちは、冬の餌がなくなる頃、収益金で鹿せんべいを買って、鹿寄せを見学し、鹿愛護会に募金を持って行きました。地域の方や希望の保護者と一緒に行ったことで、取組の理解が深まりました。



#### 3. 成果と課題

地域の方の協力や地域の教育力で、子どもたちが考えたり工夫したりしてきたことが、実現していきました。そのことで、一人一人が充実感を味わい、自己肯定感をもったことで、自分の心が満たされ、相手のことを思いやる心の豊かさにつながっていると考えられます。また、このように自己実現したことで、日々の遊びや生活の場で自分で考えたり活動したり等、主体的に取組む力が身につきました。

事業名

## ひとつつながる・地域とつながる・歴史とつながる

目標

## みどりと人の輪の中ですくすく育つ心と体

## 1. 取組の視点

本園は、平城宮跡の豊かな自然と子どもの健やかな成長を願う温かな地域の方々の支えのなかにあります。そのなかで、子どもたちが心を動く体験を重ね、いろいろな遊びの中で主体的に活動し、心もからだもすくすく育つことをめざし、園児と保護者や地域の方々との協働の場やふれあいの場を多くもちたいと考え取り組んでいます。そのことは、地域で守られ育てられているという思いをもつことにつながります。こうしたかかわりのなかで子どもたちは人とかかわる心地よさや温かさを感じ、優しい気持ちが育まれることを願っています。そして、佐紀の地を愛し、ひいては奈良を愛する子どもを育てることにつながればと思います。

## 2. 取組の概要

## ＜環境整備活動＞

自然いっぱいの園庭や運動会を行うわんぱく広場（平城宮跡）の草刈りや整地作業、植木の剪定など、定期的に園の求めに応じて協力していただきました。そのおかげで、園内外が年間を通じてきれいで、安全になり、子どもたちが活発に活動できる環境に整備されました。また、野菜栽培の畑を無償で貸していただき、栽培の指導や補助もしてくださっています。地域の方々に親しみ深くなり感謝や尊敬の気持ちにつながっています。



## ＜園児と触れ合う交流活動＞

地域のボランティアの方をはじめ、様々な方々が、子どもたちと一緒に遊んだり、活動したり、指導をしていただきました。地域の方の教育力により（絵本の読み聞かせ・野菜の栽培・陶芸教室・

茶道・人形劇観賞・マリンバ演奏・独居老人の方による紙芝居・凧作り・凧揚げ）豊かな体験の場ともなっています。また、寿会に子どもと職員一同で参加し、地域のコミュニケーションと共通理解を大切にしながら、それを保育へとつなげていくことで、子どもが安心して



地域の中で育っていくことと思います。保護者、地域の方は楽しんでいる子どもたちを目の前で見て、一人一人の成長と、幼稚園や幼児教育への理解を深める行事にもなりました。また、自然が豊かで、保護者と同じように地域の方々の愛情にあふれる幸せな環境のなか、子どもたちの中に地域のよさが生き、心に残るものになった事と思います。様々な形で園に来てくださる方々は、「楽しかった。また来るよ。」「子どもから元気ももらいました。」と喜んでもらっています。また、子どもたちも「もっと一緒に遊びたかったよ。」「また来てね。」と充実したものでした。

## 3. 成果と課題

地域コーディネーターの方の協力のもと、いろいろな感動体験をして子どもたちの体験の場になりました。地域の方々に見守られ、支えられていることを痛感しています。また、子どもたちも安心して交わり、ぶつかり合い、温かい心が育ってきていることを実感しています。これからも、積極的に地域行事に参加したり、足を運んでもらったりしながら地域の方々と関わることで、人の温かさを感じ、地域のよさを知り、計画的に保育活動に取り入れ、幼児の心の豊かさを育てていくようにしていきたいと思っています。